

2020年オリンピック・パラリンピック 東京大会のレガシー

2019年8月28日
スポーツ庁長官 鈴木 大地



テーマ

1

メガ・スポーツ・イベントが
いよいよ迫る！

日本スポーツ界にとって重要な3年間に突入

2017年

2017冬季アジア札幌大会（2月・北海道札幌市・帯広市）

2018年

第16回世界女子ソフトボール選手権大会（7-8月 千葉県）
女子バレーボール世界選手権2018（9-10月）

2019年

世界フィギュアスケート選手権大会（3月 埼玉県さいたま市）
世界柔道選手権大会（8月25日～9月1日 東京都）
ラグビーワールドカップ2019（9-11月 神奈川県・横浜市など12会場）
女子ハンドボール世界選手権大会（12月、熊本県）

2020年

東京オリンピック・パラリンピック競技大会（7-9月 東京都ほか）

2021年

ワールドマスターズゲームス2021関西（5月 関西広域地域）
世界水泳選手権大会（7-8月予定 福岡県福岡市）

2026年

第20回アジア競技大会（2026年9-10月予定 愛知県・名古屋市共催）

ラグビーワールドカップ2019日本大会

全国12都市で開催

アジアで初・ラグビー伝統国以外でも初めての開催

9月20日（金）開幕戦～11月2日（土）決勝戦



◆ 参加国と予選の組み合わせ（20か国）

プールA	プールB	プールC	プールD
アイルランド	ニュージーランド	イングランド	オーストラリア
スコットランド	南アフリカ	フランス	ウェールズ
日本	イタリア	アルゼンチン	ジョージア
ロシア	ナミビア	アメリカ	フィジー
サモア	カナダ	トンガ	ウルグアイ

◆ 予選プール 日本の日程

日程	試合	会場
9月20日(金) 19:45	日本 vs ロシア	東京スタジアム
9月28日(土) 16:15	日本 vs アイルランド	静岡エコパスタジアム
10月5日(土) 19:30	日本 vs サモア	豊田スタジアム
10月13日(日) 19:45	日本 vs スコットランド	横浜国際総合競技場

ラグビーW杯 100日前イベント



2019.6.12 「100 DAYS TO GO イベント」

「ラインアウト」を体験しました！



2019.8.1 丸の内スポーツフェス



2019・2020・2021を含む
第2期スポーツ基本計画
～どんなレガシーを残すか～

第2期スポーツ基本計画

スポーツ基本計画 第2期: 2017年4月～2022年3月

2020年東京大会の先を含む
5年間の日本のスポーツの重要な指針



国民



スポーツ団体



民間事業者



地方公共団体
教育機関



国

関係者が一体となって「スポーツ立国」実現を目指す

スポーツは「みんなのもの」



様々な形のスポーツ

1 競技として、限界へ挑戦するもの

2 健康や仲間との交流など多様な目的で行うもの



散歩



ダンス・健康体操



ハイキング



サイクリング など

スポーツ参画人口の拡大を目指す

第2期スポーツ基本計画の骨子

第2期スポーツ基本計画

4つの
指針



国民がスポーツで



「人生」
が変わる！



「社会」
を変える！



「世界」
とつながる！



「未来」を創る！



第2期スポーツ基本計画における 数値目標の例



数値目標

スポーツ市場規模

現状

5.5兆円

2025年目標

15兆円



具体的な施策

- スタジアム・アリーナ改革
- スポーツ経営人材の育成・活用
- 新たなスポーツビジネスの創出・拡大



数値目標



具体的な施策



スポーツ目的の
訪日外国人数

138万人 ➤ 250万人

※1

スポーツツーリズム
関連消費額

2,204億円 ➤ 3,800億円

※2

- スポーツツーリズムの推進
- 地域スポーツコミッショナの拡大
- スポーツ×文化×観光の取組奨励
- スポーツによる地域の一体感の醸成
- スポーツ関連組織の収益モデルの調査と普及

※1 出典：（平成27年度），日本政府観光局公表の訪日外国人旅行者数に、「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）における「今回の日本滞在中にしたこと（複数回答）」のうち「ゴルフ」，「スキー・スノーボード」，「スポーツ観戦（相撲・サッカーなど）」の選択率を乗じて算出。

※2 出典：「旅行・観光動向調査」（観光庁）における旅行消費額のうち、観光・レクリエーション目的の旅行における「スポーツ施設」，「スキー場リフト代」，「スポーツ観戦・芸術鑑賞」に係る消費額を合計して算出。（平成27年度現在）

2020年東京大会に向けて
官民・オールジャパンで推進



SPORT
FOR
TOMORROW

スポーツ・フォー・トゥモロー (SFT)

目標：スポーツの価値を**100か国**以上**1,000万人**以上に広げる。

万人のため
のスポーツ

開発と平和の
ための
スポーツ

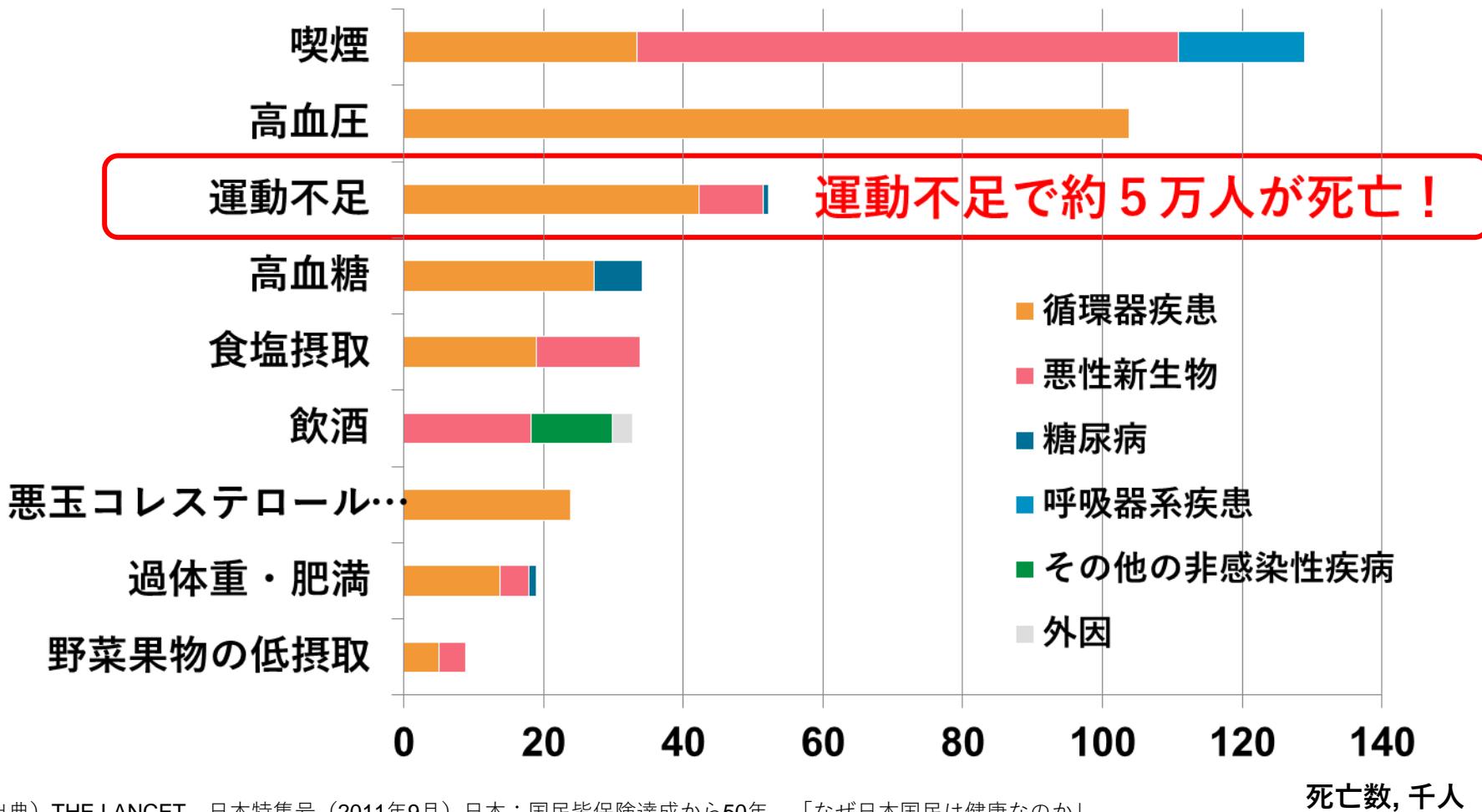
インテグリティ



テーマ
3

スポーツで「健康」な人生を！

2007年の我が国における危険因子に関する非感染症疾病と外因による死亡数



数値目標



具体的な施策



成人の週1回以上のスポーツ実施率



42.5% ▶ 55.1% ▶ 65%

(平成28年度) ※

(平成30年度) ※

- ビジネスパーソン向けの運動習慣づくり
- 高齢者向け「スポーツプログラム」の策定
- 自治体と連携して地域住民に運動を継続してもらうための仕掛けづくり
- 新たなスタイルのスポーツの開発・普及
- スポーツを通じた女性の活躍促進

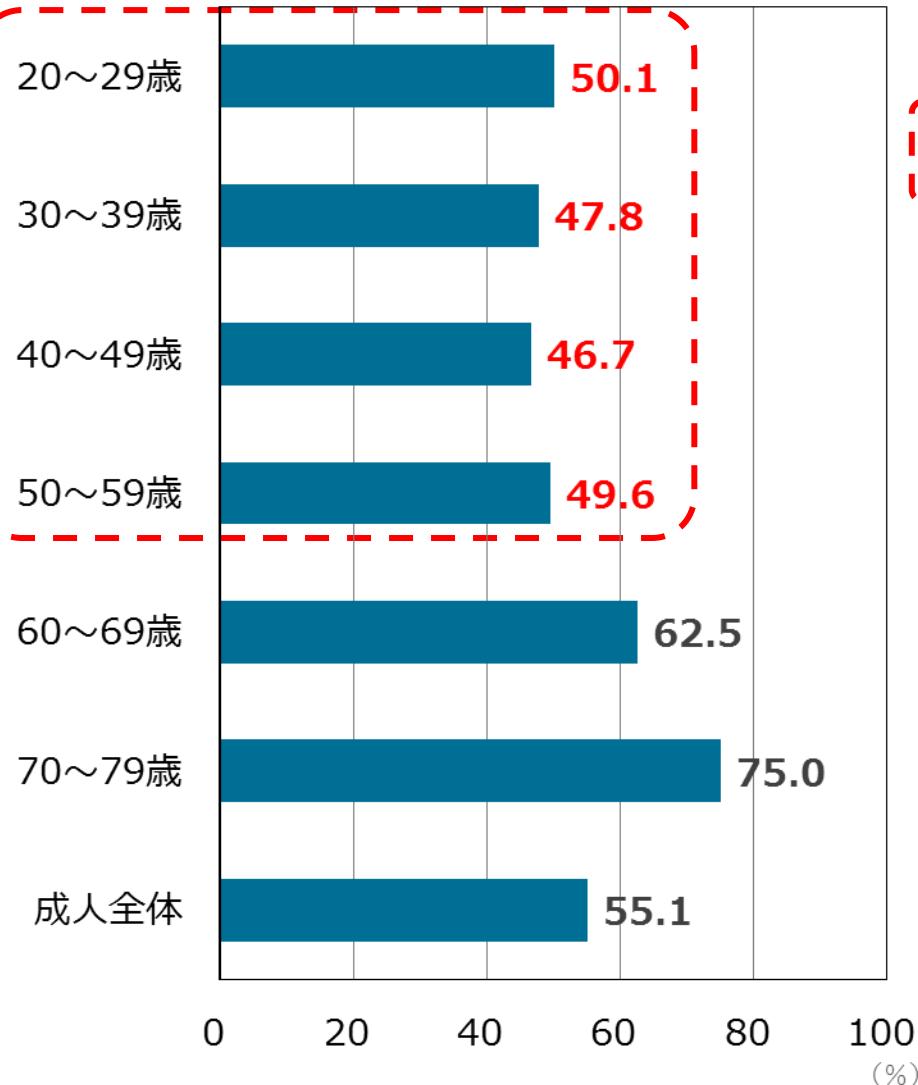


生涯心身ともに、健康な生活を営む基盤づくり

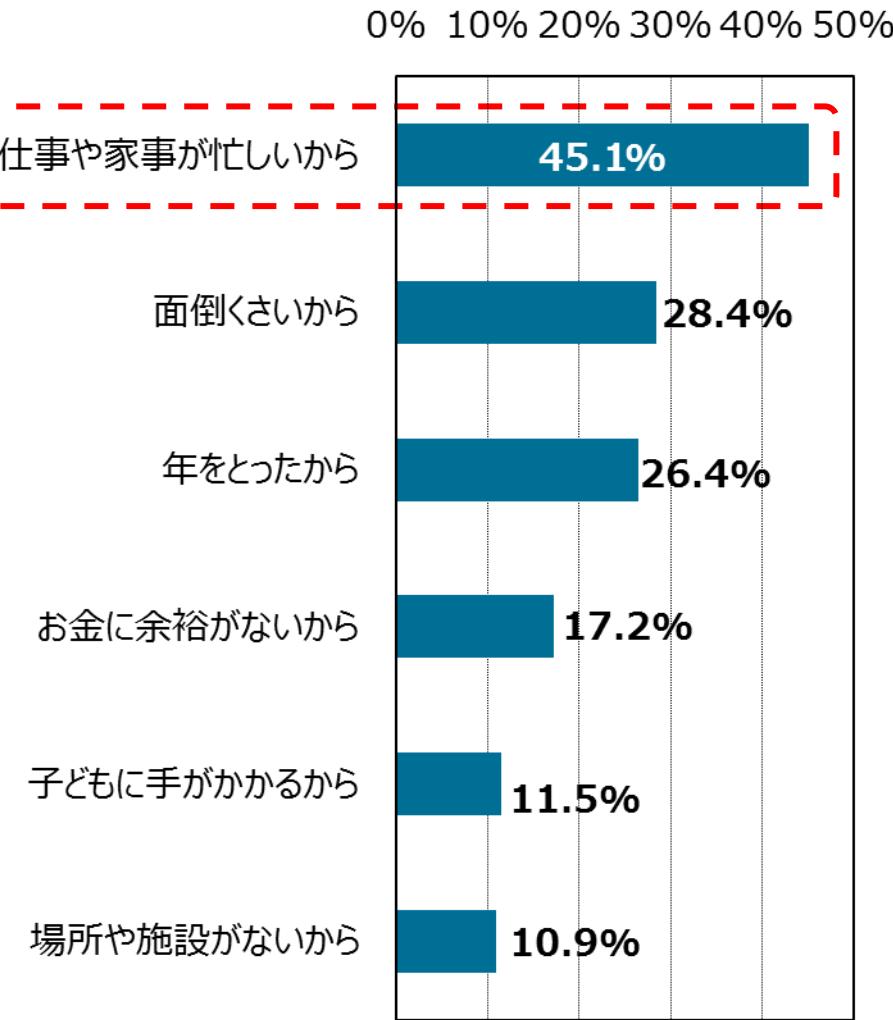
スポーツ実施率の向上

スポーツで「人生」が変わる！

年代別 週1回以上スポーツ実施率(成人のみ)

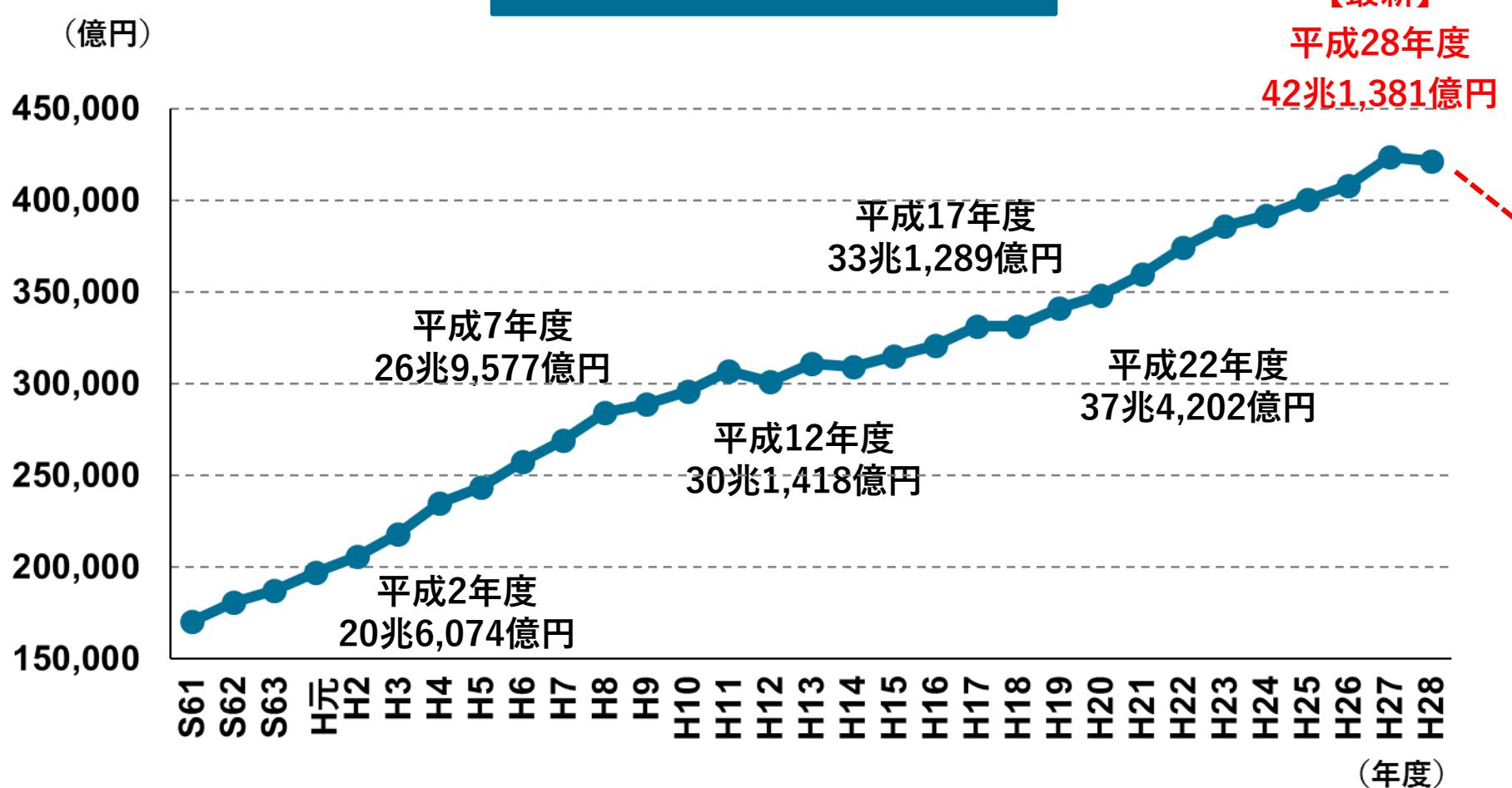


スポーツをしない・できない理由 (上位)



(出典) 「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(平成30年度 スポーツ庁実施) より作成

国民医療費の推移



スポーツの力で国民医療費の抑制が可能 ⇒ 国家財政にも貢献

「スポーツ・イン・ライフ」

生活の中にスポーツを。

「スポーツ・イン・ライフ」の実現



Sport in Life

「スポーツ・イン・ライフ」



2019.7.1

高橋尚子 東京2020大会組織委員会 アスリート委員長とともに
「東京大会のレガシー」をテーマに共同会見

私の「スポーツ・イン・ライフ」 【通勤時】

【あさ活】



【ゆう活】



ビジネスパーソン向けプロジェクト

普段の生活から気軽に取り入れることのできる「歩く」に着目し、
「歩く」に「楽しい」を組み合わせることで、
自然と「歩く」習慣が身につくプロジェクト

FUN+WALK PROJECT



1日当たり8,000歩を
目標に設定

1日の歩数を普段より
プラス1,000歩（約10分）

スポーツエールカンパニー認定制度

「スポーツ・エール・カンパニー」 347社を認定（平成30年度）

「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を認定する制度

令和元年度は10月21日（月）まで申請受付中！



【認定証】



【認定ロゴマーク】

厚生労働省とスポーツ庁の連携

スポーツを通じた
健康増進のための
連携会議を実施



厚生労働省
鈴木医務技監

スポーツ庁
鈴木長官



神宮ヨガイベントに共同で参加



全国産業安全衛生大会にて挨拶

“EIM” (Exercise is Medicine)

「まずは薬を飲む代わりに、スポーツを通じて健康に」

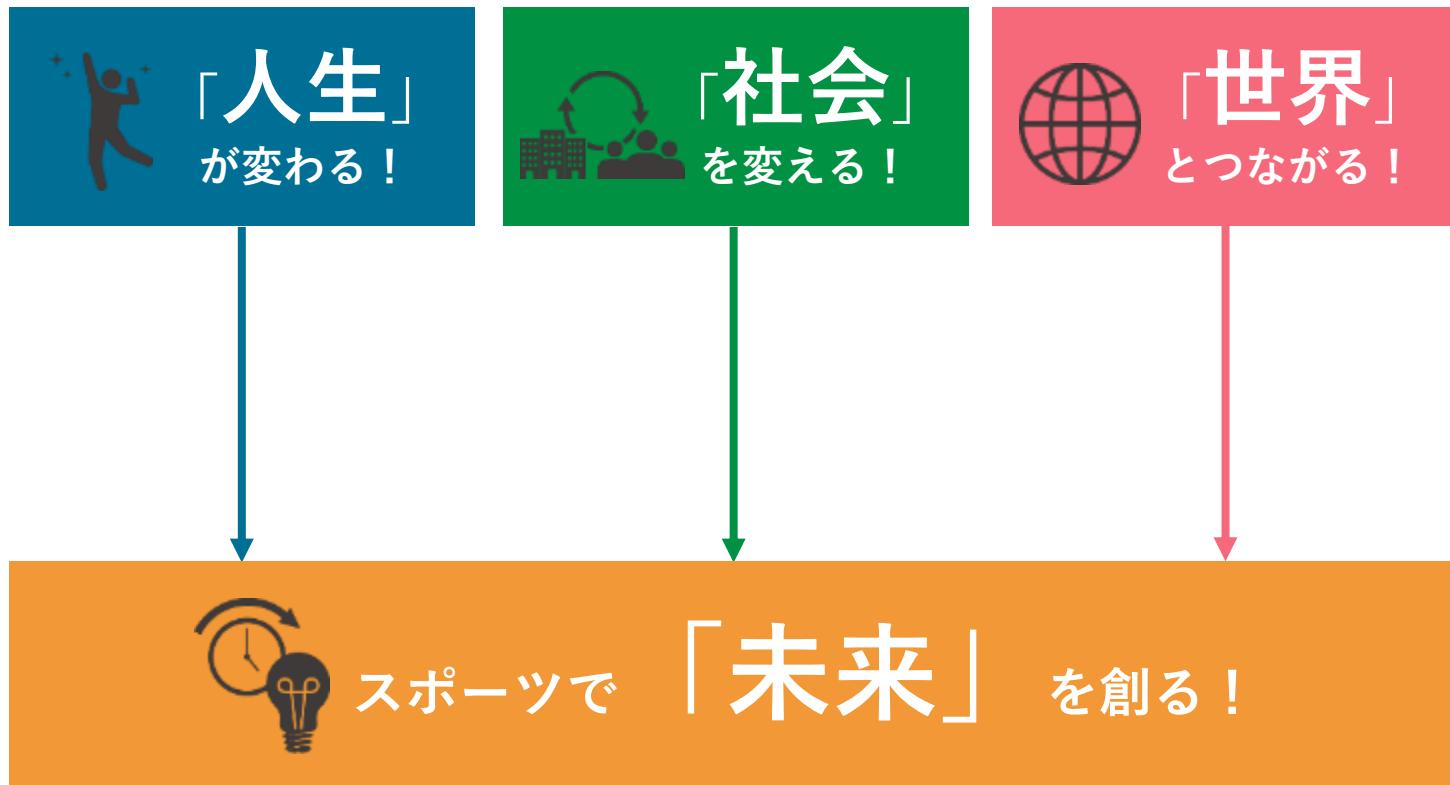


2019.5.28

アメリカスポーツ医学会総会に伴って開催された
「EIM国際代表者会議」にて日本の取組をプレゼンテーション

スポーツで「未来」を創る！

2020東京大会など スポーツに関心が高まる絶好の機会





スポーツで「未来」を創る！



「スポーツ立国」

自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、
前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創る。



これからの5年間が、**スポーツの価値**をさらに高め、
日本の未来に**レガシー（遺産）**を残す。

スポーツ庁のSNS



スポーツ庁が発信するさまざまな情報にご注目ください。
FacebookやTwitterで「スポーツ庁」を検索！



スポーツ庁 (japansportsagency)



スポーツ庁 (@sports_JSA)



スポーツが変える、未来を創る。
Enjoy Sports, Enjoy Life

